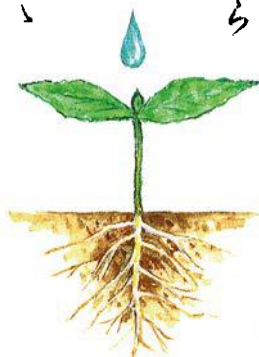


内科 小児科 漢方 産科 婦人科 浮田医院 だより



第 64 号
医療法人 せゝらぎ会
発行所：浮田医院
〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
(パソコン) <http://www.ukita.gr.jp>
(携帯) <http://www.ukita.gr.jp/i/>
e-mail: kanpou@ukita.gr.jp
発行日：2006年8月5日(土)
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(64) アトピー性皮膚炎Ⅲ

216
皮膚科の漢方
漢方薬のよさ
アトピー性皮膚炎



やつと梅雨が明けました。これから本格的な夏の到来です。この夏に大量の汗をかき、シャワーなどで皮膚を清潔にして下さい。十分な尿量があるようにたくさん水分を摂って下さい。「肺」(汗、皮膚の管理)と「脾」(水分、食欲)の働きが衰えないように気をつけてください。

七月に母親教室の部屋ができ上がりました。ひと月四〜五回母親教室を開く予定です。当院でお産を予定される方は是非参加してください。遅れていますが、漢方部門の増設(入り口、待合診察室)、お産の病室の改装の準備を進めています。

今月はアトピー性皮膚炎のお話です。定義は「増悪・寛解を繰り返す、掻痒のある湿疹を主病変とする疾患であり、患者の多くはアトピー性素因を持つ」、



廬山寺の桔梗 (紫式部ゆかり、京都市)

白内障、網膜剥離、カボジ水痘様発疹症、伝染性膿痂疹などの合併症があります。治療は原因・悪化因子の検索と対策、スキンケア、ステロイドとタクロリムス外用剤の使用です。悪化要因は習慣性掻爬行動、ストレスなどで、心身症状の側面が考えられ

ます。東洋医学では、乾燥肌(血虚、陰虚、瘀血)を基本に、ストレス(人、仕事)、栄養(食事)、環境(温度、湿度)などを調整しながら、五臓六腑の乱れを整えるための手段(漢方薬、鍼灸)を選択します。

では実例に移ります。

二十七歳女性、アトピー性皮膚炎

幼少より乾燥肌、皮膚掻痒感、皮膚掻爬部より分泌物、全身に痒疹(皮膚の隆起、掻痒)、顔は真っ赤で浮腫傾向、不眠、便秘、口渇(就寝前に喉の渇き)。青黒い顔、腹力は硬く、両側腹直筋緊張、心下痞、臍傍の抵抗と圧痛、臍上悸を認め、浅黒くザラザラした皮膚。脈は弦緊。舌は濃紫紅色、両側舌縁と舌尖部に黒い色素沈着、乾黄苔。そこで、白虎加人参湯(二日一回)、防風通聖散加地黄、黄连、黄柏、蒼朮、猪苓、沢瀉、柴胡(一日三回)を処方。顔にプロトピック軟膏を一日二回塗布(二週間)、一週間後、顔の赤みが減少し、プロトピック軟膏は中止。一ヶ月後、口渇がなくなり、白虎加人参湯を中止。二ヶ月後、痒み





減少。六ヶ月後、皮膚の硬さ減少。一年後、皮膚に潤いが出てくる。二年後、痒疹部が色素沈着化してくる。三年後ほぼ改善。漢方薬を服用していると体調がよいので継続中。

三十六歳女性、夏ばて、倦怠感、微熱、軟便、食欲不振のため、七月末来院。青白い顔、腹力は弱く、胃内停水、臍上悸を認め、脈は沈、遅。舌は淡白色、湿白苔。そこで、清暑益氣湯＋紅参を処方。一週間後、元気が回復。九月末まで継続。

二十九歳女性、心臓神経症、突然起こる動悸（脈の不整）、胸痛、背痛、発汗、寒気、熱感で苦しむ。精神安定（ソラナツクス（0.4）VI錠／日）、抗うつ剤（パキシル（10）III錠／日）を服用中だが十分な効果がない。足が冷える。顔は紅潮、腹力やや軟弱、軽度胸脇苦満、心下痞硬（圧痛を伴う）、胃内停水、臍上悸（著明）、下腹部は軟弱。脈は浮、数、緊。舌は、淡紫紅色、薄乾黄苔。そこで、呉茱萸、桂枝、半夏、生姜、人参（肘后奔豚湯）を処方。一ヶ月後、症状がほと

んどなくなつた。四ヶ月後、肘后奔豚湯のみ。一年後、肘后奔豚湯も頓服にする。三年後、ほとんど症状がなくなり廃薬。

二十三歳女性、口内炎、のぼせ、動悸、イライラして怒りやすい。両頬は赤く、腹力は中程度、心下痞、臍上悸、臍傍圧痛と抵抗と圧痛。脈は浮、緊、数。舌は紅色、薄乾黄苔。そこで、黄连解毒湯を処方。二日で改善。時々再発するが、一〜三回程度服用すれば直ぐ治る。

三十一歳女性、口内炎、腹鳴（お腹がゴロゴロ鳴る）、下痢（軟便）傾向、足の冷え。両ほほの軽度紅潮、腹力中程度、心下痞、胃内停水、臍上悸。脈は沈、細。舌は淡紅色、薄白苔。そこで、半夏瀉心湯を処方。二日後、口内炎は消失。腹鳴、軟便傾向などを改善するため、二年後、口内炎、腹鳴、軟便がなくなり廃薬。次回は、子宮筋腫についてです。



〔院長〕



夏 ば て

もともと、胃腸（脾）の弱い方、イライラする方、上半身に比べ下半身の弱い方、暑さや湿気で、食欲、発汗、排尿、排便が不調になり、疲れ、だるさ、むくみ、意欲低下、不眠の方。漢方薬をお試し下さい。体のだるさ、食欲不振、むくみなどの症状が取れてきます。その他の身体症状も改善し体力も強化されます。



心 臓 神 経 症

動悸、息切れ、呼吸困難、前胸部痛、疲労を自覚する病気で、30～40歳の女性に多く見られます。心臓に器質的疾患（狭心症など）があるかどうか、心電図、胸部写真、血液・尿検査などで調べます。心と体の治療が必要なので、東洋医学的な考え方も必要です。四診を参考に漢方薬を決定しています。



口 内 炎

虫歯、義歯、胃腸障害、感染症、妊娠、月経、薬物障害などが原因で口中粘膜や舌が荒れて痛む。外用薬、うがい、漢方薬などを利用して治療しています。体格（体力）、イライラ、のぼせ、下痢や便秘、腹鳴（ゴロゴロ）、過食、不眠などを参考に漢方薬を処方して慢性化した口内炎の治療をしています。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤**タイフ**の漢方薬と顆粒**タイフ**の漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。**40～60分煮**で作ります。
当院の**顆粒タイフの漢方薬**は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫(冷凍庫)で保管**して下さい。漢方薬が固まりやすい場合、当院の**漢方薬専用容器**(無料)をご利用下さい。

適応症

- 便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。
- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膵炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、腔分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、頭痛、膝関節痛、足の痛、筋肉痛、・・・の治療に適しています。

予約-漢方外来

土曜日の午後、予約-漢方外来があります。
(予約制、2回/月)。午後2時～2時30分、
2時30分～3時、3時～3時30分。日程は掲示板やホームページでお確かめください。(電話予約可)

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。
・紫雲膏 ・太乙膏 ・靈芝
・アガリクス ・メシマコブ ・AHCC ・サメ軟骨

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、**保険証の変更**は、早急に受付に連絡して下さい。

処置診

処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザーをご希望の方、**診察券**を入れ**受診者名簿**に、**氏名**を書き**処置の欄**にチェックして下さい。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、花粉症、アトピー性皮膚炎、ストレス・・・などの治療に利用しています。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、**計画的に診療と治療**を行います。往診と違い、**定期的に(月に2～12回)訪問診療**を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

外来休診日

8月14日(月)―8月16日(水)の間
外来を休診します。
お産や急患はこの限りではありません。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午	○	○	○	○	○	○	—
正午～午後12時30分	—	—	産後健診(予約可)	—	産後健診(予約可)	—	—
午後2:00～午後3:30 (予約は2:00～3:00)	乳房相談(予約) (有料)	乳房相談(予約) (有料)	乳房相談(予約) (有料)	乳房相談(予約) (有料)	乳房相談(予約) (有料)	予約-漢方外来 (月2回)	—
午後2:00～午後4:00	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	(手術)	在宅訪問診療	—	—
午後5:30～午後7:30	○	—	○	—	○	—	—

- ◇漢方外来(月～土)(予約不要) : 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。
- ◇予約一漢方外来(2回/月 土曜日): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分
8月12日、8月26日、9月9日、9月30日、10月7日、10月21日 電話予約可。1月2回(日程はホームページ、掲示板参照)。
- ◇更年期外来(月～土)(予約不要): 更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)
- ◇不妊 外来(月～土)(予約不要): 赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)
- ◇妊婦 外来(月～土)(予約不要): 妊婦健診、妊娠中の方
- ◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後12時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診
- ◇乳房 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ。電話予約可

前期と中期-母親教室

日時: 8月5日、9月2日、10月7日の各土曜日
対象: 妊娠7ヶ月までの方(定員8名位)(無料)

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約をお願いします。*ご主人様もお気軽にご参加下さい。
ご参加の場合は申し込みノートにお名前記入をお願いします。お産まで奥様の腰をマッサージ(さする)するコツを習得してください。

後期-母親教室

日時: 8月12日、19日、26日、9月9日、16日、30日の各土曜日
対象: 妊娠8～10ヶ月の方(定員8名位)(無料)

母親教室のお知らせ

7月の母親教室から、別棟の多目的ルームで開催しております。
前中期で安産体操、後期で呼吸法、分娩体位の練習を行いますので動きやすい
服装でおこしください。
リラックス法を身につけ、前向きにお産にのぞめるようにがんばりましょう。



精

父母から受け取った精を「先天の精」「元精、元陰、真陰」と言います。飲食物を消化吸収して
得られた栄養物が各臓に運搬され、そこで作られた精の余りは、五臓(肝腎脾肺腎)に
蓄えられ、「後天の精」と言います。特に「腎」に蓄えられた精の働きが大きく、「腎精」と言われ、
成長、発育、老化、生殖(排卵や月経、精液)を調整しています。また、骨髄、脊髄、脳と深く
関係し、気血を作るエネルギーの本になっています。



分娩予約

妊娠30週までに受付で予約して下さい。
ご予約には、分娩予約カードと予約金10万円が必要です。
予約された方には、母と子のてびきをお渡しします。

立会い分娩

あらかじめ、受付でお申し込み下さい。

パソコンホームページ (<http://www.ukita.gr.jp>)

産婦人科のページ (入院、食事、各種教室、指導)
漢方治療のページ (外来、漢方治療の範囲)
老人医療のページ (在宅療養の支援)
健康のページ (健診、ブライダルチェック、予防接種)
当院の施設案内、当院への交通(車、J R)
周辺の観光地など掲載(滋賀県)。

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

助けて ウッキー! DRウッキーの悩み相談
婦人科 産科 漢方科 友達に教える
外来診療のご案内などを掲載(i-m o d e 対応)

乳房相談(助産師)

乳房相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。
(電話予約可)
午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。
日程は掲示板やホームページでお確かめください。

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
日時: 毎週月、水曜日 正午～午後12時30分(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、
メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

従業員募集

看護師、助産師(常勤、パート)。面接: 随時、
各種保険加入、賞与: 年2回、交通費支給。